

浪人生活を終え

2010年4月
一橋大学 社会学部に入学した

マンガで見る「山本ようすけ」 3章：学生時代の青春

これで
生きづらい人たちの
力になれる！

——と思ったが…

大学デビューと同時に
コンラトもデビューした

大学生活は楽しい
勉強だけじゃなくて
色々なこともした

今までの人生で最も
よく語り合い
よく遊び
よく飲んだ

模擬国連というサークルにも参加した
1人1ヶ国を担当して国連会議を模擬し
交渉やディベートをする活動だ

インカレ(色々な大学が参加している)
だから一橋だけじゃなくて多摩地域の
色々な大学の人が知り合うことができた

とはいってももの
小難しい会議は苦手だ…
自分はお堅い議論は
ほどほどにして…

サークルのメンバーと
学園祭でお店を開いたり
富士山に登ったり
歩いて山手線一周したり
する方が一生懸命になれた

大学のカリキュラムは自由
だったから心の赴くままに
色々な講義を受けてみた

社会学
心理学
哲学
経済学
ジェンダー
政治学
開発学
歴史学

働く現場を見て
みたいとバイト
も始めた

コンビニのレジ
倉庫の作業
ホテルのウェイター
試験監督：色々やったけど
一番楽しかったのは
駅員のバイトだ

みんな大変
そうだなあ…

色々な人と出会い
知見を広め
経験を積みながら

自分は何になるのか
悩み始めていた

就活で行き詰まり
出会ったのは

コンサルティンク業界

コンサルティンクとは：
企業などの抱える課題を分析
や調査を通じて明らかにして
その解決策を提供するという
仕事だ

「視野を広め、問題解決能力を
身に着けてから、会社を出て
いって生きづらさを抱える人の
ために働きたい」と

嘘偽りない思いを面接で
話して内定をもらい
2014年3月
大学を卒業した

続く…